

<その他、取組に特徴のある事例>

地域まるごとカバープランツ

1. 集落協定の概要

市町・協定名	みはらし だいわちょう ふくだ 広島県三原市 大和町 福田				
協定面積 65.3ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地	
	水稻				
交付金額 622万円	個人配分 0%				
	共同取組活動 (100%)	集落の各担当者の活動に対する経費			3%
		センチピードグラス吹き付け経費			72%
		水路・農道等維持管理経費			24%
事務経費			1%		
協定参加者	農業者35人、非農業者30人、水利組合			開始：平成12年度	

2. 取組に至る経緯

福田集落は三原市の北部に位置し、水稻を中心に営農が行われている地域であり、高齢化の進行による耕作放棄地の発生が懸念されていた。このような中、平成12年度から中山間地域等直接支払制度に取り組み、地域住民による共同取組活動として農地や農道・水路等の施設の維持管理や有害鳥獣の防護柵設置等を行ってきたところである。

3. 取組の内容

第3期対策に移行する際に交付金の個人配分をとりやめて、全て共同取組活動費として使用することとし、地域住民の高齢化に伴って農道や水路等の法面管理が困難になりつつあったことから、草刈活動の労力軽減を行うため集落全体をカバープランツで被覆することを活動の柱とし、地域農業の担い手が農業生産活動を継続しやすい環境を整えることとした。

平成22年度にセンチピードグラスの吹付機を共同機械として導入し、計画に基づいて順次、吹付面積を拡大している。



【福田集落の全景】



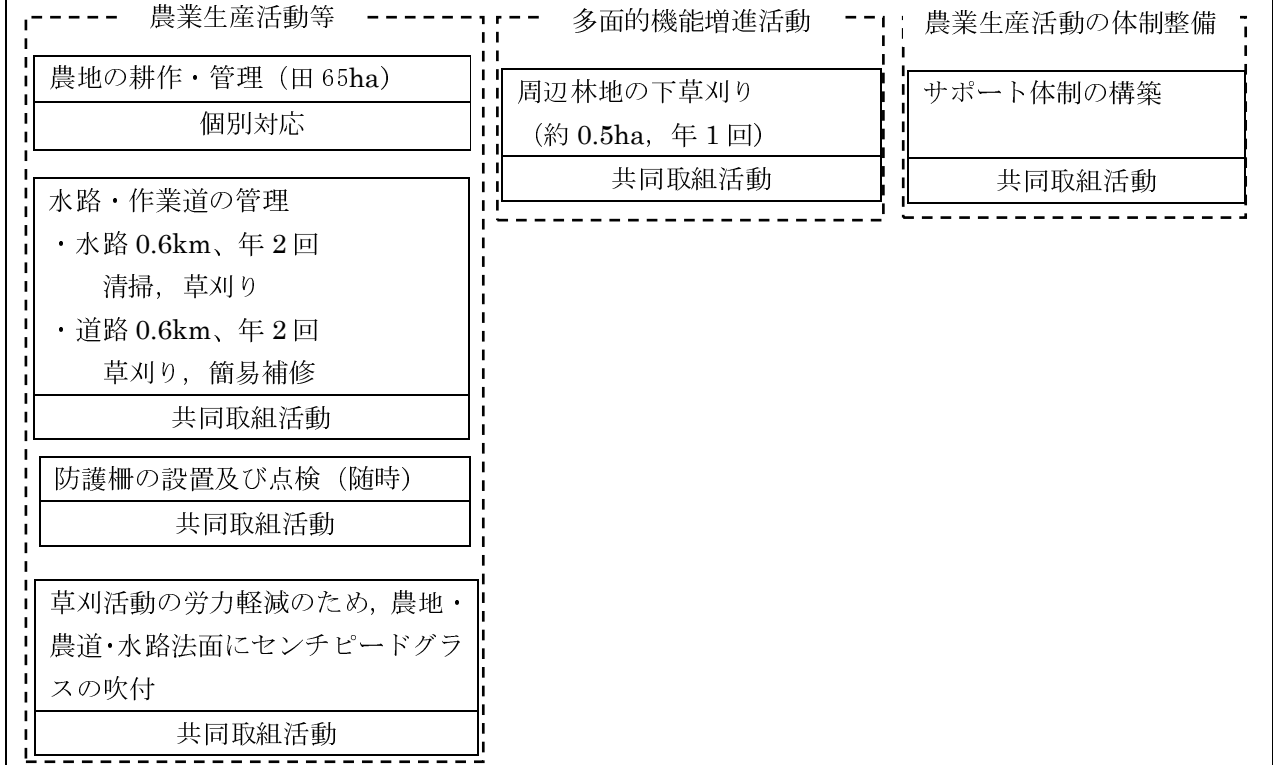
【吹付作業の様子】

[集落の将来像]

- 地域の実情に即した持続的な農業生産活動の体制整備

[将来像を実現するための活動目標]

- 共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備
草刈作業の労力軽減のため、集落全域にセンチピードグラスを吹付け



4. 今後の課題等

水稲は地域農業の担い手（認定農業者や大型農家）が行い、野菜等の畑作は高齢農家や女性が行うよう、役割を分担することで持続性のある農業生産体制を構築していきたい。

また、ハウス等の野菜生産拠点の整備を行い、それらの農産物を用いた加工品の生産・販売を視野に入れ、当地域の農業の6次産業化を目指したい。

[第2期対策の主な成果]

- ・堆肥散布による地力増進
(1.5 t /10a を 65ha に7年間散布した。)
- ・大規模な有害鳥獣防護柵
(集落内に約12 km , 約6,000 枚のワイヤーメッシュを設置)